



Coincheck(コインチェック)の手数料を徹底解説!

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/coincheck-fees-thoroughly-explained>

暗号資産(仮想通貨)の取引においては、暗号資産の手数料を安く抑えることが肝要です。今回は、大手暗号資産取引所Coincheck(コインチェック)での手数料の金額を概観します。

Coincheck(コインチェック)での取引を検討している場合や、Coincheck(コインチェック)のその他の手数料を把握したい場合、ぜひ一読いただきたいです。

Coincheck(コインチェック)の手数料

まずは、Coincheck(コインチェック)の4種類の手数料をご紹介します。

Coincheck(コインチェック)で発生する手数料は、入金手数料、出金手数料、送金手数料、取引手数料という4つの手数料があります。手数料がどんな時に発生するのかをしっかりと把握することで節約にも繋がるのでぜひご確認ください。

1.Coincheck(コインチェック)の入金手数料

入金手数料は、銀行等からCoincheck(コインチェック)の口座に日本円を入金する際に発生する手数料です。口座に入金する方法は以下の3つです。

1. 銀行振込
2. コンビニ入金
3. クイック入金

コンビニ入金はコンビニにて、直接レジで入金する方法です。

また、クイック入金はATM・ネットバンキングを利用し、金融機関の営業時間に左右されずに入金する方法である。

2..Coincheck(コインチェック)の出金手数料

出金手数料は、Coincheck(コインチェック)の口座から日本円を出金する際に発生する手数料です。

Coincheck(コインチェック)における出金手数料は一律407円です。

3.Coincheck(コインチェック)の送金手数料

暗号資産の送金手数料とは、暗号資産(仮想通貨)取引所と取引所の間で暗号資産を移動する際にかかる手数料です。

送金手数料は「送金する側」にかかる手数料ですので、取引を頻繁に行う場合、できるだけ安く抑えたいと考えるのが当たり前でしょう。

暗号資産取引所Coincheck(コインチェック)の利用者間であれば、無料Coincheck(コインチェック)の送金手数料は、Coincheck(コインチェック)ユーザー間の送金手数料は無料です。

一方で、Coincheck(コインチェック)以外の取引所への送金であれば有料である。

Coincheck(コインチェック)以外の取引所に送金する場合、かかる送金手数料は定額ではなく、通貨別にそれぞれ設定されている点にご留意ください。

▪ Coincheck(コインチェック)の送金手数料一覧

Coincheck(コインチェック)の送金手数料は以下の通りです。

暗号資産/送金手数料

BTC	0.0005 BTC
ETH	0.005 ETH
ETC	0.01 ETC
LSK	0.1 LSK
XRP	0.15 XRP
XEM	0.5 XEM
LTC	0.001 LTC
BCH	0.001 BCH
MONA	0.001 MONA
XLM	0.01 XLM
QTUM	0.01 QTUM
BAT	63.0 BAT
IOST	1.0 IOST
ENJ	30.0 ENJ
OMG	11.0 OMG
PLT	139.0 PLT
SAND	21.0 SAND
XYM	1.0 XYM

※コインチェックユーザー間の送金手数料は無料です。

出典: Coincheck(コインチェック)の公式サイト

暗号資産の銘柄によって手数料の金額にかなり差があるため、自分が所有している暗号資産や、送金を検討している暗号資産にかかる手数料をご確認ください。また、送金手数料は暗号資産ごとの単位で設定されている点にも留意したいです。

Coincheck(コインチェック)ユーザー間の送金手数料は無料であり、Coincheck(コインチェック)を利用しているユーザーは多いため今後さらに便利になるでしょう。さらにCoincheck(コインチェック)は国内の[暗号資産取引所](#)においては一番多くの暗号資産を扱っており、Coincheck(コインチェック)にしかない通貨もあるため、ぜひ今のうちから開設しておくことをおすすめします。

4.Coincheck(コインチェック)の取引手数料

取引手数料は、Coincheck(コインチェック)で暗号資産の取引をした際、すなわち購入する際と売却する際の両方で発生する手数料です。

Coincheck(コインチェック)における取引手数料は無料ですが、留意すべき点もあります。

暗号資産取引所における取引には以下の2種類があります。

①販売所での取引

②取引所での取引

上記の2つの違いは「誰と暗号資産の取引をするか」です。販売所では「暗号資産取引所」と取引し、取引所では「Coincheck(コインチェック)などの暗号資産取引所に登録しているユーザー」と取引します。このように暗号資産の取引には「販売所」「取引所」の2種類があり、Coincheck(コインチェック)ではどちらの場合でも手数料は無料です。

ただし、販売所での取引には「スプレッド」という実質的な手数料を支払う必要があるため認識していきましょう。

■ スプレッド

暗号資産取引における「スプレッド」とは、銘柄を買った時の値段と売った時の値段に生じる差額のことを指します。たとえば、買値が120円で売値が100円の銘柄Aがあったとする。銘柄Aで生じるスプレッドは20円で、利益を出そうとするのであれば、120円以上になるまで待つ必要があります。

暗号資産取引所は取引手数料が無料となっているところも多く、スプレッドが実質的な手数料として認識されています。

スプレッドは、暗号資産の取引を「販売所形式」で行った時のみ発生します。販売所形式とは、トレーダーと暗号資産取引所が直接取引を行う形式です。

暗号資産取引所は通常、暗号資産を高く売って安く買い取ることで全体の利益を生み出しています。取引手数料に代表される各種手数料が無料であっても、暗号資産取引所が利益を得られるのはスプレッドがあるからです。スプレッドが「実質的な手数料」といわれているのは、取引所の利益を出すシステムがそのままトレーダーに影響を与えているからです。

スプレッドは取引を行うたびに発生し、発生するスプレッドは暗号資産取引所によって異なってくるため、短期での売買をメインに考えていく場合、スプレッドが少額で済む暗号資産取引所を利用するのがおすすめです。

Coincheck(コインチェック)においては、スプレッドがあるためそこに対しては注意が必要だが出金額は一律であったり、取引手数料は無料であるメリットも大きいいため、暗号資産に興味のある人にはCoincheck(コインチェック)はおすすめしたい暗号資産取引所です。

5.Coincheck(コインチェック)で手数料を抑える方法

Coincheck(コインチェック)で手数料を抑えて取引する方法として、以下の3つが挙げられます。

1. 日本円は銀行振込で入金する
2. 複数回の入出金は一度にまとめる
3. 販売所での取引回数を減らす

日本円の入金方法には以下の3つあると述べましたが、「銀行振込」以外は入金手数料が有料である点

にご注意ください。

1. 銀行振込
2. コンビニ入金
3. クイック入金

どうしても「コンビニ入金」か「クイック入金」を利用して日本円を入金する場合は、入出金の回数を減らすことは、入出金手数料を減らすことに寄与するでしょう。

また、販売所での取引回数を減らすことで、実質的な取引手数料を抑えることが可能です。先述の通り、販売所での取引には「スプレッド」という実質的な手数料を支払う必要がありますので、ご注意ください。

【他の記事】

[ステーブルコインUSDDとは？ トロン基盤のUSDDがローンチ](#)

[ライトコイン（LTC）とは？ 特徴や将来性を解説！](#)

[ビットコインを無料でもらう方法5選！ | 暗号資産の稼ぐ方](#)

[DApps（分散型アプリ）プラットフォームを6つ紹介！](#)

[DAppsとは？ 分散型アプリの定義と活用事例を解説 | 用語集](#)

[暗号資産のステーキングとは？ 仕組み・特徴を解説！ | 用語集](#)